

TAGネットは、高ジルコニア含有の耐アルカリ性・耐酸性のガラス繊維を用いたネットです。湿式外壁のクラック抑制と、剥落防止を目的とする。

TAGNETの材料

■ 耐アルカリ、耐酸性特性

試験項目	TAGネット	Eガラス
耐アルカリ性 重量減少率 (%) (セメント飽和水溶液、80°C 200時間)	0.7	10.5
耐酸性 重量減少率 (%) (10% HCl、80°C 90時間)	0.9	42.9
耐酸性 重量減少率 (%) (10% H ₂ SO ₄ 、80°C 90時間)	0.7	42.0

■ 絡み編みによる特性

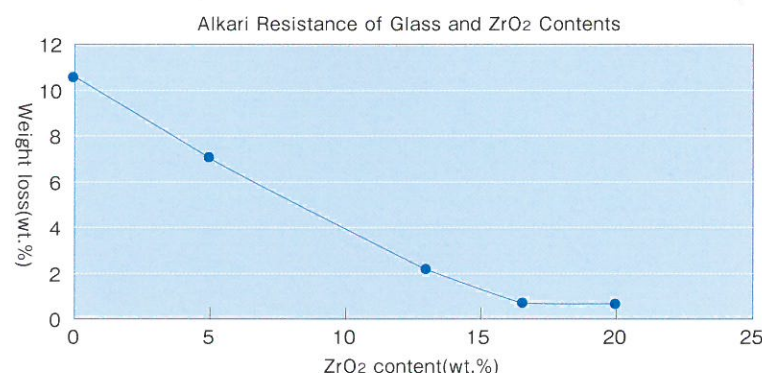
TAGネットをセメント飽和水溶液に200時間放置し、アルカリ成分により縦糸と横糸の間の接着剤が溶解し、状態を維持するかの確認。

※モルタルの水分によるモルタル塗り作業中にほとけることはありません。



■ ジルコニア (ZrO₂) の含有率と耐アルカリ性の関係について

ジルコニア (ZrO₂) の含有率と耐アルカリ性の関係を右図に示す。右図からも分かるように、ジルコニアの含有率が15%を超えたところから耐アルカリ性は0.1% (耐アルカリ重量減少率) 以下となる。TAGネットは、コストを配慮して**16.5%**に設定しています。



■ TAGネットの規格

品番	質量	原反質量	目間隔 縦×横 (mm)	規格		厚み (mm)	引張強度 (N/50mm)	
	g/m ²	g/m ²		幅 (mm)	長さ (m)		縦	横
TGA150-5×5	150	136	5×5	1,000	50	0.4	1200<	1200<
TGY165-7×7	175	165	7×7	1,000	50	0.4	1200<	1200<
耐火条件	130<	-	4×4~10×10	-	-	0.3<	1000<	1000<

品番	質量	原反質量	目間隔 縦×横 (mm)	規格		厚み (mm)	引張強度 (N/50mm)	
	g/m ²	g/m ²		幅 (mm)	長さ (m)		縦	横
TNG70-2.8×2.8	70	-	2.8×2.8	50	100	0.3	325	250

公的試験検査機構

ZEO₂ 住化分析技術(上海)有限公司

※木軸45分準耐火構造の国土交通大臣認定条件に準じる。

引張強度試験 一般財団法人 カケンセンター 寧波支社

※軸組防火構造の国土交通大臣認定条件一覧表

※詳細は、別途製品毎の検査表をご参照下さい。

1セット800本単位で
別途オリジナル印刷
が可能です。

TAGNET 施工要領

保管上の注意点

日射時の養生ビニール中や締め切った車中のような高温の場所での放置は避けて下さい。寝かせず、立てて保管して下さい。

施工前 (TAGネットの裁断)

塗付けに先立ち、張りやすいようにTAGネットを裁断します。(目安 最長約3m)

■ 一般部

一般部は、モルタルの上塗り施工後、ムラを取り、直ちに全面に張り残しがないように、裁断したTAGネットを張り付け、ネットの浮きがなくなるようにコテでなじませて下さい。塗りの締め具合を見て作業を行います。約1~2mm厚程度に伏込み、ムラを取り、平坦に押さえて仕上げます。



TAGネット伏込み



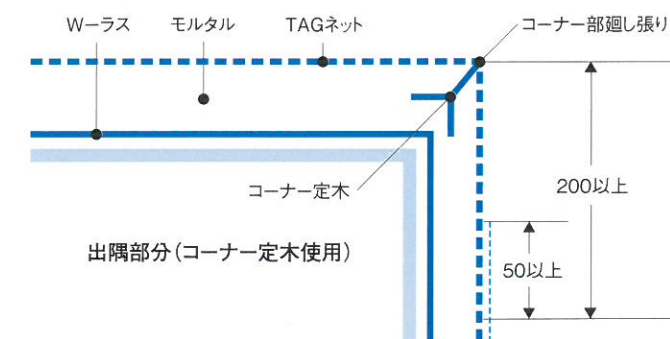
左官こて押え又は、ネット伏込専用こて



仕上り

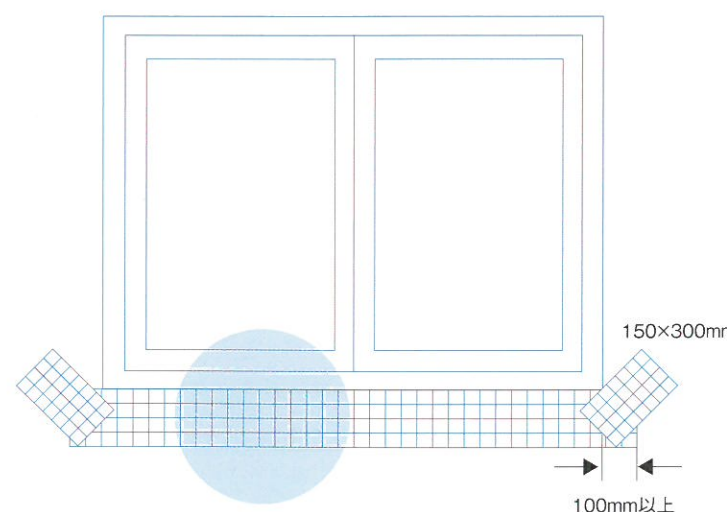
■ コーナー部

出隅入隅部分はいずれもTAGネットを廻し張りとし、200mm以上廻して下さい。出隅でコーナー定木を使用する場合は、特にコーナー部分でネットの浮きがないよう、かつネットに傷が付かないようにていねいに張して下さい。

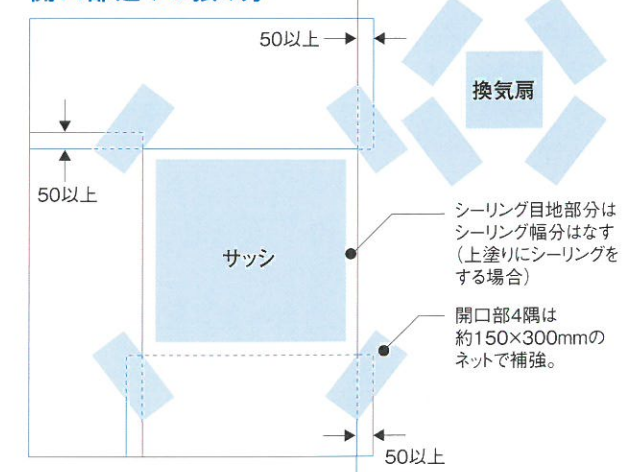


■ 掃き出し口下部等

サッシ掃き出し口、出入り口下部の狭い部分に(サッシ幅より左右100mm以上広く)、及び斜め方向部分に、150×300mm程度のカット品で補強張り。出隅、入隅に隣接する部分はカットせずに、廻し込んで下さい。(出隅コーナー定木を使用する場合を除く。)



開口部廻りの張り方



換気扇

サッシ

シーリング目地部分はシーリング幅分はなす(上塗りにシーリングをする場合)
開口部4隅は約150×300mmのネットで補強。